

## 【表情と言葉】

新聞のコラムにあった文章、「いい笑顔は相手の心に素直に飛び込む」「往く言葉が美しければ来る言葉も美しい」が目にとまりました。なるほどその通りだと思い、朝会で子どもたちに話しました。自分が発する言葉が相手にどう伝わるか、さらに相手の口から出てくる言葉を自分がどう受け取るか。誰もが人間関係の難しさを感じことがあるかもしれません、同時に、自分が笑顔でいるだろうか、自分が発する言葉は美しいだろうかと振り返ることも大切だと感じています。特に子どもたちと接するときの言葉には気をつけたいものです。

先日、高学年の女の子から「校長先生とはよく目が合うね」と言われたことがあります。「だって、お話をされるときは必ず相手の目を見るでしょう」と言ったのですが、その子の発した一言からもいろいろなことを考えさせられました。分からぬことばかりですが、せめてその子が私と目が合うことで不快な思いをしないように心がけようと思いました。

## 【教員の仕事】

最近の教員たちの仕事の様子を見ていると、教員の役目と保護者の役目の微妙な境界線がじわじわと教員側に入り込んで来ているのではないかと感じことがあります。保護者の皆さんの中に「躾は親の仕事」ということに異論のおありの方はいらっしゃらないと思います。学校に、そして教員にそう多くのことを期待してはいないとはっきりと言われるのは少し寂しい気もするのですが、本音を言えば教員たちはその微妙な境界線のあたりで起きることで一番大変さを感じているように思います。

微妙な境界線あたりの問題とは・・・

「学校帰りに買い物をしてしまう」「電車内や駅でのトラブルが起きるだけでなくマナーが悪い」「家でやるべき宿題をやってこない」「メールでのやりとりで友だちに嫌な思いをさせる」「休みの日にお出かけする際に友だちを誘うか誘わないかで悩む、また誘われなくて淋しい思いをする」・・・など、

あげればきりがありません。

子どもの毎日の生活は、学校と家庭というように明確に分けることができないことが多いです。嬉しいことがあれば心は穏やかになり、つらいがあれば不安な気持ちから心穏やかではいられなくなります。教員が子どもたちを見ていて気になることがあると、そのことを確認しながら解決の方向を見つけ出そうとするのは当然のことですが、そのことに真剣に向き合おうとすればするほど、保護者と協力して一緒に考えていくたいと思うことがあります。つまり、一番の理解者であってほしいのが保護者の皆さんなのです。少し話がずれますが、いろいろなところから、ある保護者が小学校のことをあまりよく言っていたいなかったというような噂話が耳に入ってきてします。本当だとは思いたくないですし、思いませんが、ちょっと悲しくなることもあります。また、兄弟でお子さんを小学校に入学させてくださっている方は、下のお子さんの保護者の間では、先輩保護者としてその影響力は大きいものがあります。この影響力がよい方向に作用してくれることを願います。

学校は子どもたちが集団生活を通して様々なことを学ぶ場でもあります。皆さんのお子さんも友だちからたくさんのことを学びます。わが子大事は当たり前。わが子第一も理解できます。しかし、わが子以外の子どももわが子のために大切なことを忘れないようにしましょう。

## 【インターネットでのいじめ】

インターネット先進国で、子どもたちの間に広がるネットいじめが大きな社会問題になっていると聞きます。その中にあったことで、悪意を持って撮影された写真がネット上で多くの人に見られその人が学校に行けなくなる。そして、たとえ転校してもその写真は学校を越え、地域を越えてあっという間に世界中に広がってしまうためにまた同じ状況がその人に襲いかかるというものがありました。その結果、その子には安心して生活できる場が自宅しかなくなってしまうとのことでした。

加害者の意識の低さと被害者の受ける損害の大きさはどんな犯罪でも見られることですが、あまりにも簡単に加害者になってしまふことがまさに現代のネット上で起きる様々な問題の特徴と言えるでしょう。

自分がしてしまうことがどれほど人を傷つけ、迷惑をかけてしまうかが予見しにくいかかもしれません、そのような状況になってしまったらもうやり直しは絶対にできない恐さがあります。ネット上の安易な発信が私たちの予想する以上に大きな広がりを持ってしまいます。

子どもたちの多くが利用している携帯端末、ゲーム機ですが、使い方しだいでは便利なものにも、凶器にもなってしまいます。

日本はインターネット先進国かどうか私には分かりませんが、もう十分すぎるほど子どもたちの手にその端末は行き渡っているのではないでしょうか。そして使い方などのマナー教育はいつも問題が起きてから現実を追いかけるように行われていますがとても追いつきません。持たせる前の約束は守られていますか。